

1. 「情報ビジネスコース」のねらい・方針

(1) 情報ビジネスコースのねらいは何ですか？

Q1 情報ビジネスコースとはどういうことを目標にしているコースですか？

高度に情報化された現代の日本でよりよく暮らしていくための力(情報活用力)を身に付け、そしてその力をいかして社会で活躍できる人を育てていくことを目標にしています。

Q2 そのために、どんなことを勉強するのですか？

コンピュータ等の情報機器を中心に、「情報」の効果的な活用方法について学んでいきます。

(2) 「情報活用力」とは何ですか？

Q1 「情報活用力」とはということですか。

「情報活用力」とは文字通り、情報を活用する力のことです。東浦高校の情報ビジネスコースでは「情報表現力」「情報発信力」「情報処理力」の3つの力をまとめてこう呼んでいます。

Q2 3つの力をもう少し具体的に説明してください。

まず、「情報表現力」とは、写真や絵、音楽などをコンピュータソフトを使って表現する力のことをいいます。

次に、「情報発信力」とはコンピュータやインターネットを利用して、自分の考えや作品などを自らが発信できる力のことです。

最後に「情報処理力」とは様々な情報を処理していく力のことです。商業高校や工業高校でも情報処理という科目があるように、普通科の東浦高校では文書作成や表計算はもちろん、データベースソフトを使った授業などを通して、的確な処理能力を身につけていきます。

(3) 情報ビジネスコースを希望するメリットはなんですか。

東浦高校は普通科ですので、当然国語・数学・英語などの一般教科も多くの時間をかけて3年間勉強していきます。その時間の一部を情報の勉強に充てるメリットには、次のような点をあげることができます。

ア 様々な情報科目を学習することで、幅広い情報の知識が身に付くこと。

イ 共通試験の科目「情報」に対応した勉強ができること。

ウ 体験的・実習的な学習が多いため、情報活用の実践力が身に付くこと。

エ 課題研究や発表を行うことにより、プレゼン力が身に付くこと。

オ 商業科目の学習を通じて、ビジネスマナー等が身に付くこと。

(4) どういった進路に進む生徒を募集しているのですか？

東浦高校の情報ビジネスコースは、総合類型に入っています。この類型は進学・就職どちらにも対応することができます。

2年間で情報や商業についての基礎的な知識を身につけたうえで、さらに高度な知識を身につけるために大学や専門学校に進学したい人は、一般受験で進学することもできます。しかし、3年間欠席せずに、授業をきちんと受け、よい成績を収めておけば指定校推薦や一般推薦で、希望の大学や専門学校に進学することも可能です。

また就職を希望する人も、今日の高度情報化社会において情報処理の技術や知識を身に付けることは、仕事においても日常生活においても、たいへん重要なことです。「情報ビジネスコース」で修得した情報関係の知識や考え方は、職場できっとあなたの役に立つでしょう。

(5) 「情報ビジネスコース」では、情報や商業に関する科目をどれくらい勉強するのですか？

3年間で18単位分（単位とは1週間あたりの授業時数のこと）勉強します。1年生では全員が週2時間、2年生で情報ビジネスコースを選んだ場合は、週5時間、3年生では週9時間勉強します。加えて、3年次に商業科目2時間の授業があります。

(6) どのような資格が取得できますか？

授業で学んだことを生かしていろいろな資格試験にチャレンジすることができます。例えば、こんな資格があります。

- 国家資格である「ITパスポート試験」や「基本情報処理技術者試験」
- 厚生労働省が就職支援のために認定している「パソコン検定（P検）」
- 文部科学省がICT能力を評価するために後援している「情報検定（J検）」

2 情報ビジネスコースで勉強するには

※入学試験の詳細は愛知県教育委員会が発表する要項を必ず確認してください。

(1) 募集人員はどうなっていますか？

情報ビジネスコースの定員は40名です。本校を希望する人全員が全く同じ試験を受け、入学後に2年次に進級する際に情報ビジネスコースに移るかどうかの希望を取ります。